

2022年気候変動質問書 (簡易版)について

CDP Worldwide-Japan

2022年 4月



気候変動質問書（簡易版）の 各質問の流れ

気候変動質問書、簡易版概要について

2022年 気候変動	要点
C0 基本情報	企業の情報
C1 ガバナンス	
C2 リスク・機会	企業の状況、体制、 戦略や目標などの説明
C3 事業戦略	
C4 目標と実績	
C5 排出量算定方法	排出量、エネルギーデータなど データの報告
C6 排出量データ	
C7 排出量詳細	
C8 エネルギー	
C9 追加指標	(灰色は簡易版では対象外)
C10 検証	
C11 カーボンプライシング	
C12 エンゲージメント(協働)	取引先等との協働
(C13 C14)	
C15 生物多様性	
C16 署名 (承認)	提出時の承認者

<採点(スコア)について>

- ・ 回答の充実→問題の認識度合→管理・積極取組のレベル毎に評価され、D-～Aの評価あり

<簡易版について>

- ・ 回答着手時に完全版／簡易版を選んで回答
(プライム上場等企業は簡易版では採点無し)
 - 1) 初めて回答する企業
 - 2) 年間売上が2.5億ドルに満たない企業
- ・ 質問数が減少、基礎的な要素に絞られる
(TCFDの要素は少ない)
- ・ 採点はあるが、評価の仕方は一部完全版と異なる。最高でもA-評価となる

C0 基本情報



C0.1

貴社の概要を記述してください。

C0.2

データを報告する期間（年）の開始日と最終日を教えてください。

C0.3

データを提供する対象国を選択してください。

C0.4

回答を通じて財務データとして用いる通貨を選択してください。

C0.8

貴社の持つISINコードや、他の固有ID番号がある場合、ご回答ください。

- ・企業情報
 - ・報告年(回答対象年)
 - ・活動の範囲(国レベル)
 - ・企業コード
- などの情報を報告頂く、基本的な章となります。

C1 ガバナンス

▼ 気候変動問題に関する取締役会レベルの監督があるか。
またガバナンス(内部統制)やインセンティブの状況。



C1.1 貴社では、気候関連問題の取締役レベルの監督を行っていますか？

はい

いいえ

C1.1c

気候関連問題の取締役会レベルの監督がないのはなぜですか、そして将来これを変更する計画はありますか？

C1.2 気候関連問題に責任を負う最高位の職位または委員会をお答えください。

C1.3 気候関連問題の管理に対して、目標達成に対するものを含めて、インセンティブを提供していますか。

(選択式)

設問例：

(C1.2) 気候関連問題に責任を負う最高レベルの職位または委員会をお答えください。

：職位/委員会、責任対象(リスク・機会)、取締役会への報告頻度 <各選択>
責任者を置き、リスク・機会を評価・管理し、定期的(頻繁)に報告しているか。

C2 リスクと機会

気候変動問題に関するリスク、機会の管理等を行うプロセス。
またリスク、機会の詳細。



C2.1

気候関連リスクや機会を特定・評価し、それに対応するプロセスをお持ちですか。

はい

いいえ

C2.2g

上記(C2.1)プロセスを持たない理由はなぜですか、そして将来これを導入する予定はありますか？

C2.3
C2.4

貴社の事業に大きな財務的または戦略的影響をあたえる可能性のある
気候関連リスク(/機会)を特定しましたか？

はい

いいえ

C2.3a
C2.4a

貴社の事業に大きな財務的または戦略的影響を
与える可能性のあるリスク(/機会)の詳細を
教えてください。

C2.3b
C2.4b

当該リスク(/機会)がないと考える理由を
教えてください。

：リスク・機会の項目ごとに、具体的説明、財務的な影響額、
対応の手立て、対応費用の選択・記述による回答

用語説明：リスク

ここでは法規制への対応、災害や変化への対処、その
他事業活動に対し起こりうる悪影響を指す

C3 事業戦略

C3.1

貴社は1.5℃の世界*に適合した移行計画をお持ちですか。

：移行計画についてYes, Noその他の選択式の回答、および株主との意見交換などあるかについての説明

用語説明：1.5℃の世界

パリ協定に基づき、地球温暖化による気温上昇を1.5℃以内に抑えるべく、
企業～国レベルで取り組む方向性に基づく将来の世界像

将来的なシナリオ分析や低炭素移行経済への計画、また具体的な事業戦略及び財務計画を求める章。
(簡易版においては上記C3.1の設問のみになります)

C4 目標と実績

▼ 排出量の削減目標及びその取組みの状況報告など。



C4.1

報告年における排出目標がありましたか？

あり

なし

C4.1a
/4.1b

総量目標/原単位目標の詳細と、目標の達成度合いについて詳細を教えてください。

C4.1c

目標の無い理由や、将来の排出量の見込みについて教えてください。

C4.2

他に報告年における気候関連目標はありましたか？

適
宜
回
答

C4.2a

低炭素エネルギーの使用/生成目標についてご説明ください。

C4.2b

他の気候関連の目標についてご説明ください。（メタン削減等）

C4.2c

ネットゼロ目標についてご説明ください。

C4.3

報告年における排出削減イニシアチブ(取組)がありましたか？

はい

いいえ

C4.3b

イニシアチブの詳細を教えてください。

C4.3d

イニシアチブの無い理由を教えてください。

C4 設問内用語について



- ・ **総量目標**

自社活動における温室効果ガス(GHG)排出の全体量を低減させる目標

- ・ **原単位目標**

自社の活動量当たりのGHG排出量を低減/維持させる目標

- ・ **低炭素エネルギー**

再生可能エネルギーなど、化石燃料由来のGHG排出がゼロもしくは非常に低いエネルギー

- ・ **ネットゼロ目標**

GHGあるいは二酸化炭素の排出量を、実質ゼロにする目標。自社排出を可能な限り低減し、残った量については森林吸収や他の方法で除去することで達成することを目指す。パリ協定やSBTに関連。

(参考)

- ・ **パリ協定**

気候変動問題に対処し、世界の平均気温の上昇を産業革命前と比べ1.5度に抑えるという国際的な合意

- ・ **SBT** (Science Based Targets, 科学に基づく目標)

温暖化抑止、パリ協定の目標達成に向けた、科学的知見に整合したGHG削減目標で、組織単位で設定

C5 排出量算定方法

▼ 基準年の排出量（スコープ1, 2, 3）の報告、算定の方法論など。



C5.1

今回は、CDPに排出量を回答する初めての年ですか。

C5.2

貴社の**基準年***とその排出量を教えてください。

***基準年**：目標とする年に対する排出量等の出発点・比較対象となる年

C5.3

データ収集、排出量の計算に用いた基準や指針、手法について選択してください。

：地球温暖化対策推進法（：温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度）、GHGプロトコル企業基準、などの温室効果ガス算定のためのルールや基準について、選択

温室効果ガス(GHG)排出量の種類：

スコープ1：燃料の燃焼、化学反応等による直接の排出

スコープ2：外部から得たエネルギー使用時の供給元における排出（主に電力）

スコープ3：自社の活動の周囲・前後段階における**外部の活動による排出**

} エネルギー量等を
CO2排出量に換算

C6 GHG排出量

▼ スコープ1, 2, 3排出量及び原単位等の報告



C6.1	貴社の全世界の スコープ1 の排出量総量を回答ください。
C6.2	貴社の スコープ2 排出量の 算定基準 をご回答ください。
C6.3	貴社の全世界の スコープ2 の排出量総量を回答ください。
C6.5	貴社の スコープ3 排出量、開示、除外について説明をしてください。

スコープごとにCO2トン単位で排出量を回答。
スコープ2では、**ロケーション・マーケット基準**の2種類の報告方法があり、スコープ3には、**15種類のカテゴリ**がある。

スコープ1, 2, 3のイメージ



スコープ2、スコープ3の種類について



スコープ2の2つの算定基準

ロケーション基準

その国(／地域)で通常規定される平均的な排出係数を使ってCO2排出量を計上する方法（一般的に、公表される共通の排出係数を使用）



マーケット基準

自社組織(拠点)の購入した電力や熱について、契約や会社の選択における排出係数を把握し、その係数に基づきCO2排出量を計上する方法

スコープ3の種類

商流	No.	カテゴリ
上流	1	購入した製品・サービス
	2	資本財
	3	燃料及びエネルギー関連活動 (Scope1, 2を除く)
	4	上流の物流
上流 (自社 周囲)	5	事業から出る廃棄物
	6	出張
	7	雇用者の通勤
	8	上流のリース資産
下流	9	下流の物流
	10	販売した製品の加工
	11	販売した製品の使用
	12	販売した製品の廃棄
下流 (投資等)	13	下流のリース資産
	14	フランチャイズ
	15	投資

算定イメージ

報告対象とする組織全体の活動を把握し、CO2排出量にて算定します

スコープ1



◆ 燃料の燃焼

- ・ 自社内のボイラー、燃焼設備等の燃料の納品書等、伝票類

スコープ2



◆ 外部から得たエネルギーの使用

- ・ 各月の電力量通知や請求書
+ 排出係数のデータ(ロケーション/マーケット)

⇒ 各種使用量を伝票など根拠資料から把握して、CO2排出量に換算する

スコープ3

◆ カテゴリーごとの算定の考え方に基づく計算での算出

算定方法の例

排出原単位=単位活動量当たり
CO2排出量を係数化したもの

- ・ 購入・自社活動関係：活動量(購入量、廃棄量等) × 排出原単位
- ・ 輸送関係：輸送量 × 距離 × 排出原単位 など
- ・ 製品関係：使用時間 × 時間当たり消費エネルギー量 × CO2換算係数

... [グリーン・バリューチェーンプラットフォーム](#) などスコープ3についての説明資料参照
[：環境省・経済産業省]

スコープ1 計算の基本

- 消費量×**排出係数**
(tCO₂換算)*

(*単位発熱量
× 排出係数(tC換算)
× 44 / 12)

軽油 100,000L使用



⇒ 100(kL) × 2.58 (tCO₂/kL)
= 258 トン-CO₂

※CO₂以外のGHGの場合：

排出量 × **地球温暖化係数**
(CO₂への換算係数)

※温対法算定報告の排出係数一覧

区分	単位	値
原料炭	tCO ₂ /t	2.61
一般炭	tCO ₂ /t	2.33
無煙炭	tCO ₂ /t	2.52
コークス	tCO ₂ /t	3.17
石油コークス	tCO ₂ /t	2.78
コールタール	tCO ₂ /t	2.86
石油アスファルト	tCO ₂ /t	3.12
コンデンセート(NGL)	tCO ₂ /kl	2.38
原油(コンデンセート(NGL)を除く。)	tCO ₂ /kl	2.62
ガソリン	tCO ₂ /kl	2.32
ナフサ	tCO ₂ /kl	2.24
ジェット燃料油	tCO ₂ /kl	2.46
灯油	tCO ₂ /kl	2.49
軽油	tCO₂/kl	2.58
A重油	tCO ₂ /kl	2.71
B・C重油	tCO ₂ /kl	3.00
液化石油ガス(LPG)	tCO ₂ /t	3.00
石油系炭化水素ガス	tCO ₂ /1,000Nm ³	2.34
液化天然ガス(LNG)	tCO ₂ /t	2.70
天然ガス(液化天然ガス(LNG)を除く。)	tCO ₂ /1,000Nm ³	2.22
コークス炉ガス	tCO ₂ /1,000Nm ³	0.85
高炉ガス	tCO ₂ /1,000Nm ³	0.33
転炉ガス	tCO ₂ /1,000Nm ³	1.18
都市ガス	tCO ₂ /1,000Nm ³	2.23

スコープ2計算の基本（ロケーション基準）

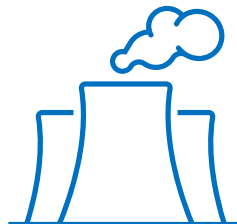
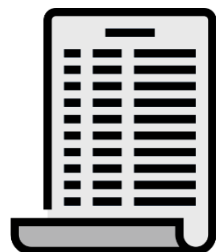
消費量(kWh) × **全国平均排出係数0.000433(tCO₂/kWh)**

※ 年度ごと最新の係数が環境省より公表

（2021年度分報告には、2020年度の値を使用する）

年間2,000,000kWhの電力使用量だった場合、

$$2,000,000kWh \times 0.000433 \text{ トンCO}_2/kWh = \underline{\underline{866 \text{ トン-CO}_2}}$$



C6(続き), C7 排出量内訳

C6.10

貴社の全世界のスコープ1+2の排出量から年間売上額当たり、または他の指標における原単位に換算し、ご提供ください。

：スコープ1, 2合計排出量 ÷ 自社年間売上金額 = **売上額あたり排出原単位** を算出
(加えて、生産量当たり排出原単位など、自社で指標としているものも回答可能)

C7.9

報告年における総排出量 (スコープ1+2)は、前年と比較してどのように変化しましたか？

(簡易版においてはC7はC7.9の設問のみになります)

(選択肢)

- 増加した
- 減少した
- 全体的に同等である
- 算定報告初年度のため、比較できない
- 排出量データがない

C8 エネルギー

再生可能エネルギーの導入状況を含むエネルギー消費量
についての報告



C8.1

報告年の事業支出のうち何%がエネルギーに使用されましたか?

C8.2

貴社がエネルギー関連のどの活動を行ったか選択してください。

(燃料, 電力, 熱の消費などの使用エネルギーを選択)



C8.2a

貴社の各エネルギー消費量合計(原料を除く)を報告してください。

C8.2回答に基づき、各エネルギーを仕事率の単位であるMWh(メガワット時)に換算して報告。

* 1GJ=0.277778 MWh

(簡易版では対象外となる章)

C9 その他の指標

C10 第三者検証

C11 カーボンプライシング

簡易版では省略されます。

C13、C14

特定業種（農業・食品等・林業製紙業／金融セクター向けの質問）向けで、簡易版では省略、多くの企業にて対象外。

C15 生物多様性

生物多様性への取組等についての質問
(本年新規設定の設問群)

C12 エンゲージメント

C16 最終承認

- ▼取引先等との協働、働きかけ
- ▼提出における承認者



C12.1

気候関連事項について、上流・下流の関係者（バリューチェーン）との協働（エンゲージメント）をしていますか？

（選択肢）

- はい、サプライヤーと
- はい、消費者/顧客と
- はい、バリューチェーンの他のパートナーと
- いいえ、関与しません

C12.2

貴社のサプライヤーに対し、取引プロセスとして気候関連の要件を求めますか。

（はい、いいえ等の選択式）

C16.1

貴社のCDP気候変動の回答に対して署名(承認)した人物の詳細を記入してください。

役職名称を記載、+ 社長、取締役会、CEO、最高〇〇責任者(CxO)、など所定選択肢から選択

※ 個人名は不要なので入力しないでください。

サプライチェーンモジュールの 各質問

サプライチェーン モジュール（SC質問）



気候変動サプライチェーンモジュール(SC)	
SC0	イントロダクション 企業概要、年間売上
SC1	排出量のアロケーション(割り当て) 対象顧客関連排出量割り当て、今後の対応計画、等
SC2	協力の機会 CDPサプライチェーンメンバー企業との協働取組、等
SC4	製品ごとの個別データ 製品・サービス単位の詳細データ提供、ライフサイクル排出量データ、 製品ベースの削減推進活動、等

サプライチェーンモジュールの回答内容は、
依頼した企業のみが見ることが可能です。

顧客と関係のあるデータ、情報の回答や、
製品ごとの排出量関連データの情報提供を
行うための設問になります。

SC0 イントロダクション

SC0.0	貴社について説明してください。（SC回答として必要な場合）
SC0.1	報告期間（年）における貴社の年間売り上げはいくらですか。

SC1 排出量の割り当て ▼ 製品の売上量/額に応じた排出量の割当て等情報

SC1.1

本報告対象期間に販売した商品またはサービス量に応じて、御社の排出量を以下に記載した顧客に割り当ててください

注：選択した要請企業ごとの回答。その企業のみ回答を閲覧できます

SC1.2

SC1.1の記入にどの公開情報を使用したか、参考文献を示してください

SC1.3

別々の顧客への排出量の割り当ての課題は何ですか、そしてその課題を克服するために何が役立ちますか

SC1.4

今後、顧客ごとの排出量を割り当てられるようにする計画はありますか

はい



SC1.4a

その能力をどのように開発するかについて記述してください。

いいえ



SC1.4b

その能力を開発する計画がない理由について説明してください。

SC1.1 回答欄の説明



要請元との報告年の取引(販売)実績に基づくGHG排出量を算出/推計して回答（スコープごと）

(SC1.1) 本報告対象期間に販売した製品またはサービス量に応じて、貴社の排出量を以下に記載した顧客に割り当ててください。

回答メンバー	排出のスコープ	割り当てレベル	割り当てレベルの詳細	CO ₂ 換算トン単位の排出量	不確実性(±%)
選択肢: [回答メンバーのドロップダウンメニュー] 対象(要請元)企業名	選択肢: ● スコープ1 スコープごと ● スコープ2 に回答 ● スコープ3	選択肢: ● 全社的 対象となる範囲を回答 ● 事業ユニット (子会社) ● 施設 ● コモディティ	文章入力欄[最大500文字] 左欄にて、 ・ 事業ユニット（子会社） ・ 施設 を選択した場合、詳細を回答	数値記入欄[最大小数点第4位を用いて、0～999,999,999,999の数字を入力] 対象のCO ₂ 量(換算)を入力	パーセンテージ記 (可能な場合、)数値の確実性を%幅にて回答 例: (±)15 %

主要排出源	検証済み*	割り当て方法	回答メンバーに提供された製品/サービスの市場価値・量	左記の単位	GHG発生源の特定方法を主な限界や仮定を含めて説明してください。
文章入力欄[最大2,500文字] 主な排出源を記述形式で回答	選択肢: ● はい ● いいえ	以下のドロップダウン選択肢から選択します	数値記入欄[最大小数点第4位を用いて、0～999,999,999,999の数字を入力]	選択肢:	文章入力欄[最大5,000文字] 全体的な記述説明 (スコープ2の算定基準等含む)

*割り当てた量/排出量について、第三者検証を受けているか

- 利用できる一次データあり、割り当ては必要ない
- 二次データを使用、割り当ては必要ない
- 納入した製品の質量に基づいた割り当て など

一次データ：実績等を入手し直接把握したデータ
二次データ：国、業界の指定値など代替的に使うデータ

回答例

スコープ1についての記載例

回答メンバー	排出のスコープ	割り当てレベル	割り当てレベルの詳細	CO ₂ 換算メートルトン単位の排出量	不確実性(±%)
選択肢: [回答メンバーのドロップダウンメニュー] A社	選択肢: スコープ1 - スコープ2 - スコープ3	選択肢: 全社的 - 事業ユニット(子会社) - 施設 - コモディティ	文章入力欄[最大500文字] ※全社の場合は不要です。一部のみの場合詳細を記載ください。	数値記入欄[最大小数点第4位を用いて、0~999,999,999,999の数字を入力] 86 (トンCO₂)	パーセンテージ記入欄[最大小数点第4位を用いて、0~999,999の割合を入力] ※数値の精度(空欄でも結構です)

主要排出源	検証済み*	割り当て方法	GHG発生源をどのように特定したか、この処理における制限事項と仮定を含めて説明してください。
文章入力欄[最大2,500文字] 製造現場でのボイラー燃料	選択肢: - はい いいえ	以下のドロップダウン選択肢から選択します 納入した製品の市場価値に基づいた割り当て	文章入力欄[最大5,000文字] 当社グループの2021年度のスコープ1の総量を、A社向けに対する売上高比率(例:20%)で按分して算出しています。

回答例

スコープ2についての記載例

回答メンバー	排出のスコープ	割り当てレベル	割り当てレベルの詳細	CO ₂ 換算メートルトン単位の排出量	不確実性(±%)
選択肢: [回答メンバーのドロップダウンメニュー] D社	選択肢: - スコープ1 スコープ2 - スコープ3	選択肢: - 全社的 事業ユニット(子会社) - 施設 - コモディティ	文章入力欄[最大500文字] D社向け製品を製造する子会社における排出量を把握し分母とする。	数値記入欄[最大小数点第4位を用いて、0~999,999,999,999の数字を入力] 28.8 (トンCO₂)	パーセンテージ記入欄[最大小数点第4位を用いて、0~999,999の割合を入力] ※数値の精度（空欄でも結構です）

主要排出源	検証済み*	割り当て方法	GHG発生源をどのように特定したか、この処理における制限事項と仮定を含めて説明してください。
文章入力欄[最大2,500文字] 工場および事務所の電力消費量。	選択肢: - はい いいえ	以下のドロップダウン選択肢から選択します “納入した製品の質量に基づいた割り当て”	文章入力欄[最大5,000文字] 当社子会社の2020年度のスコープ2の総量を、全体量に対するD社向けに出荷した製品質量で按分して算出しています。排出係数は <u>ロケーション基準</u> にて計算。 排出係数の計算法が分かる場合 （不明なら書かなくても可）

SC2 協力の機会

▼メンバー（要請企業）との協力による排出量削減等の取組み
（該当ある場合）

SC2.1

特定のCDPサプライチェーンメンバーと協力できる
相互に利益のある気候関連プロジェクトを提案してください

注：選択した要請企業ごとの回答。その企業のみが回答を閲覧できます

SC2.2

CDPサプライチェーンメンバー による依頼またはイニシアチブによって、あ
なたの企業レベルの排出量削減イニシアチブ の実施が促されましたか

はい



いいえ



SC2.2a

企業レベルの排出量削減イニシアチブを 推進した回答要請メン
バーを特定し、 イニシアチブに関する情報を記入してください

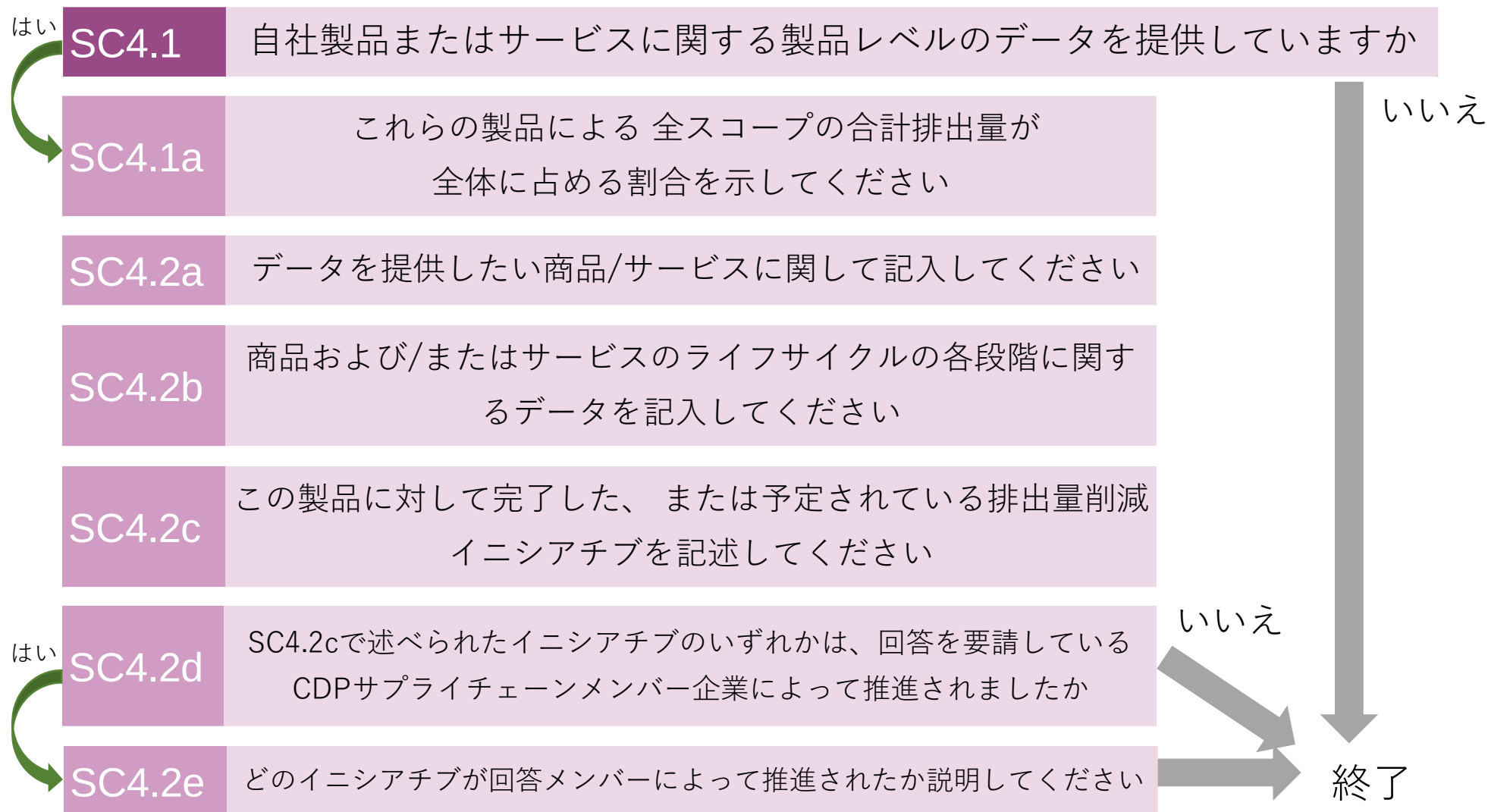


SC4へ

注：選択した要請企業ごとの回答。その企業のみが回答を閲覧できます

SC4 製品レベルデータ

製品ごとの排出量データの提供、詳細情報
(回答可能な場合)



関連資料、算定に役立つ情報

算定に関する説明等

[CDP ウェブサイト](#)に質問書、ガイダンス、スコアリング基準、変更点などが掲載されておりますのでご覧ください。

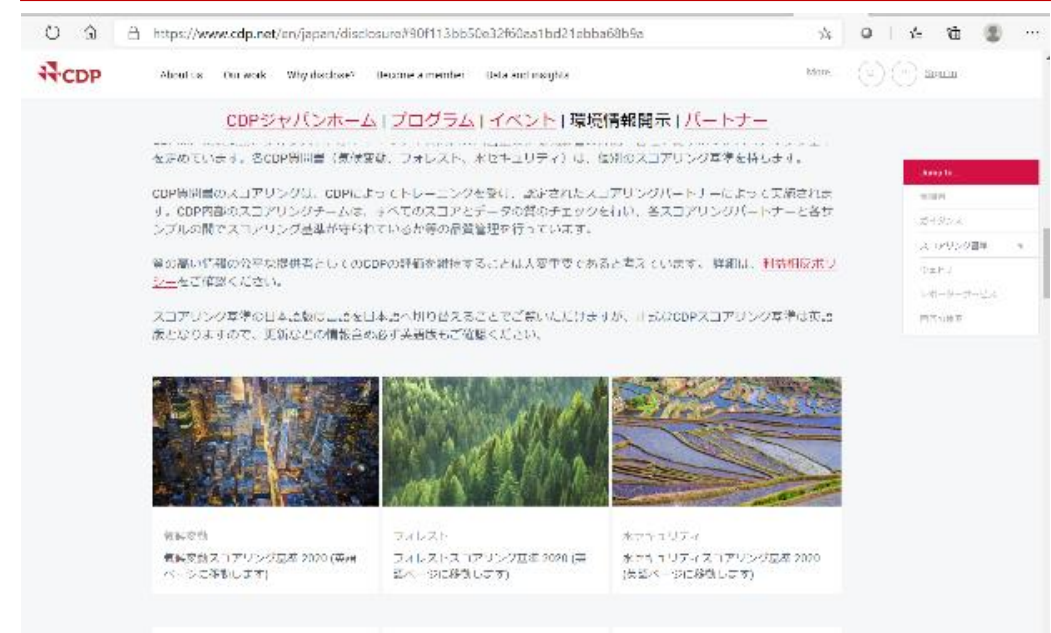
その他関連情報

- ・ [排出量算定・スコープの考え方について](#)
〈CDP動画〉
- ・ [スコープ3の把握・削減に向けて](#)
〈CDP動画〉
- ・ 温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度
[環境省] <https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/>
(：主にスコープ1, 2算定、原単位情報)
- ・ [グリーン・バリューチェーンプラットフォーム](#)
[環境省・経済産業省]
(：主にスコープ3関連情報)



CDP資料

- ・ [ガイダンス\(簡易版\)](#)：何を書くか、質問の背景など
- ・ [スコアリング基準](#)：どう採点されるか
(最新版をCDPサイトから入手ください)
- ・ [日本語でのガイダンス、スコアリング基準など基礎資料](#)





CDPジャパン事務局

Address: 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル3階



Tel: +81 (0)3 6225 2232



<https://japan.cdp.net/>（日本語サイト）



Contact email address:
japan@cdp.net

本資料の内容、CDPウェブサイトに記載している日本語版の内容は、CDP日本事務局が日本企業の皆様向けに日本語での説明を行うために作成したものです。最新の状況を反映しきれていない可能性もありますので、正しくは英語版をご参照ください。